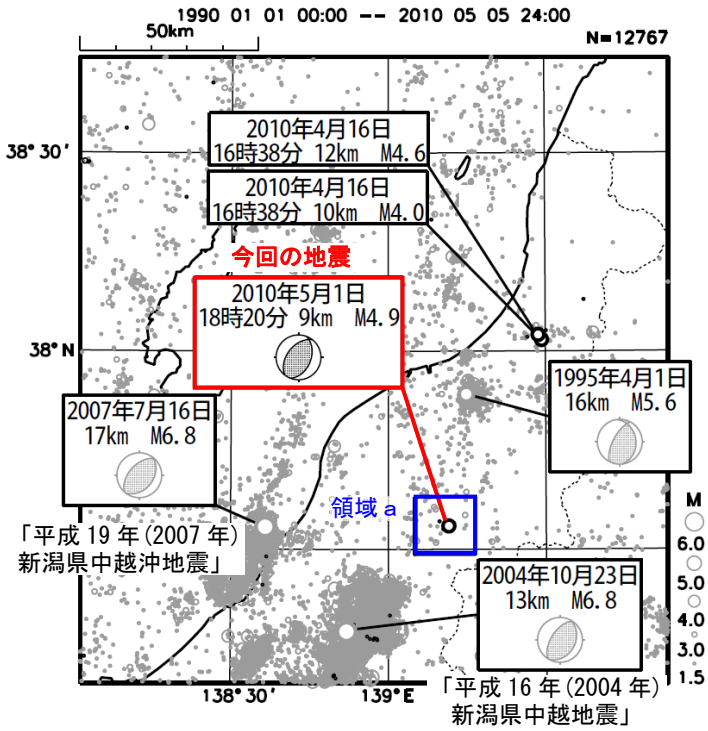


5月1日 新潟県中越地方の地震

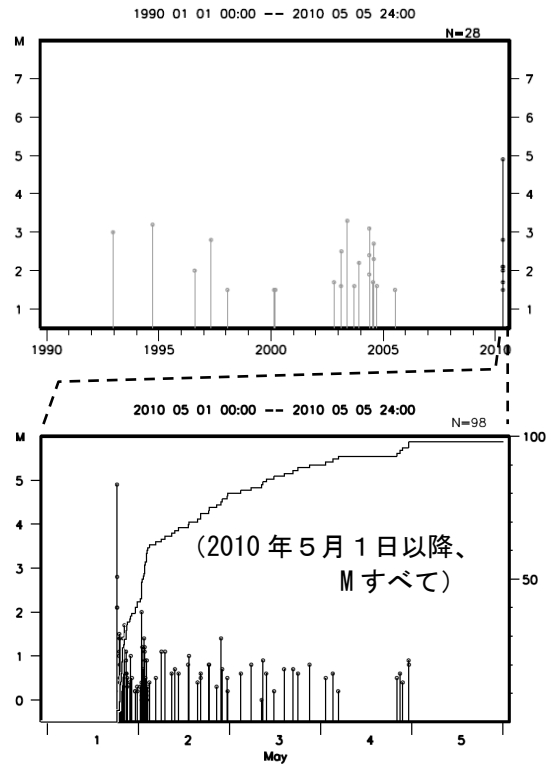
震央分布図 (1990年1月以降、深さ0~30km、 $M \geq 1.5$)
(2010年4月以降の地震を濃く表示)



2010年5月1日18時20分に新潟県中越地方の深さ9kmでM4.9の地震(最大震度4)が発生した。この地震により負傷者1人などの被害が生じている(5月2日13時現在、総務省消防庁による)。今回の地震の発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸をもつ逆断層型で陸域の地殻内で発生した地震である。5月5日現在、余震活動は収まってきている。

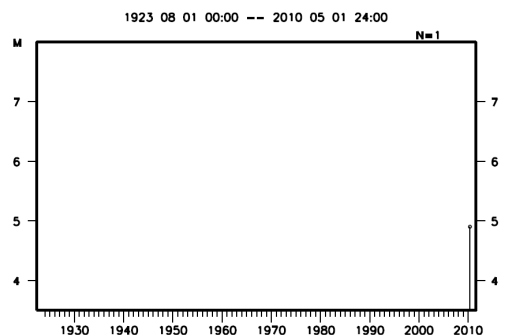
1990年1月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近(領域a)では、M4.0を超えるような地震は発生していない。

領域 a 内の地震活動経過図、回数積算図



1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央付近(領域b)では、M5.0を超える地震は発生していない。

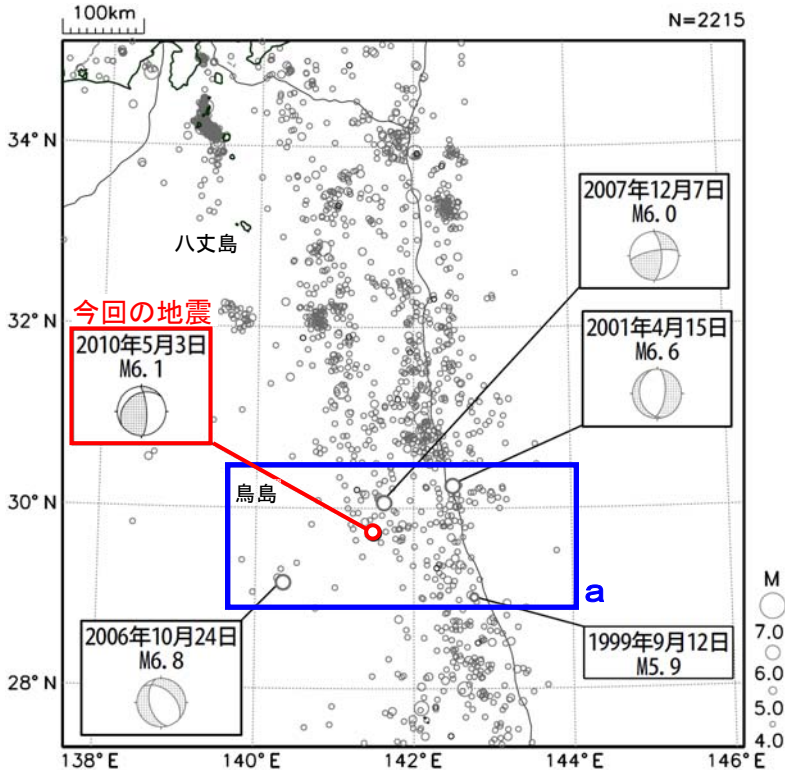
領域 b 内の地震活動経過図



5月3日 鳥島近海の地震

震央分布図（1997年10月1日～2010年5月6日、 $M \geq 4.0$ 、深さ0～100km）

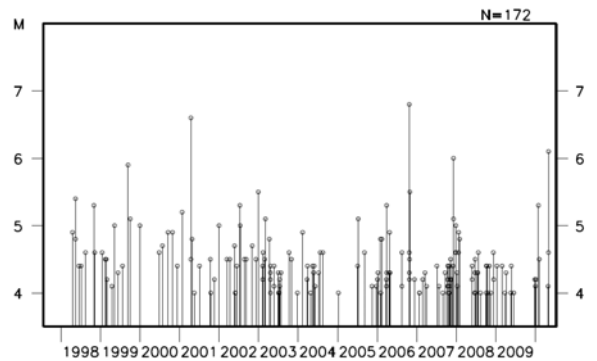
2010年4月以降の地震の震源を濃く表示。
発震機構は気象庁によるCMT解である。



2010年5月3日19時27分に鳥島近海でM6.1の地震（最大震度2）が発生した。この地震の余震は観測されていない（5月6日現在）。今回の地震の発震機構（CMT解）は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域a）では、M6.0以上の地震がしばしば発生している。2006年10月24日にM6.8の地震が発生し、日本の太平洋沿岸や伊豆・小笠原諸島で最大16cmの津波を観測した。

領域a内の地震活動経過図

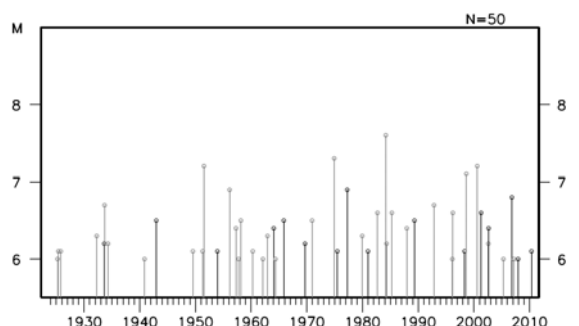


1923年8月以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域b）ではしばしばM7.0以上の深発地震が発生している。1984年3月6日にM7.6の地震が発生し、死者1人等の被害を生じた（「最新版 日本被害地震総覧」による）。

深さ150kmより浅い場所でもM6.5以上の地震がしばしば発生しているが、M7.0以上の地震は発生していない。

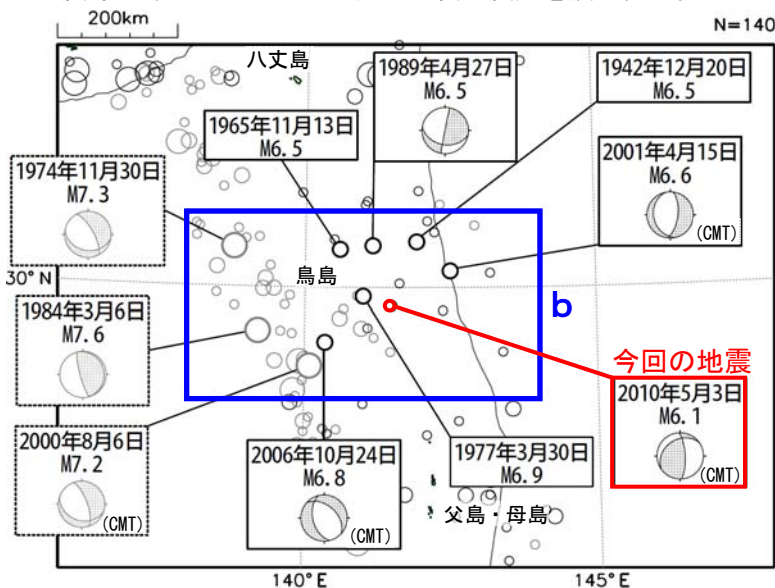
領域b内の地震活動経過図

震源の深さが150kmより浅い地震を濃く表示。震源の深さが150kmより浅い地震ではM7.0以上のものは観測されていない。



震央分布図（1923年8月1日～2010年5月4日、 $M \geq 6.0$ 、深さ0～500km）

震源の深さが150kmより浅い地震の震央を濃く表示。



5月9日 インドネシア、スマトラ北部の地震

2010年4月7日07時15分（日本時間）、インドネシアのスマトラ北部でMw7.7（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）は北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、この地震は2005年3月29日の地震（M8.6）の震源域で発生した。気象庁は、同日07時42分に「インド洋津波監視情報」を発表し、07時45分に「遠地地震に関する情報」を発表した。この地震により、インドネシアのシボルガとテルクダラムで0.1m程度の津波が観測された（太平洋津波警報センターによる）。

2010年5月9日14時59分（日本時間）にもMw7.2（Mwは気象庁によるモーメントマグニチュード）の地震が発生した。この地震の発震機構（気象庁によるCMT解）も北東-南西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、この地震は2004年12月26日の地震（M9.1）の震源域で発生した。気象庁は、同日15時18分に「インド洋津波監視情報」を発表し、15時25分に「遠地地震に関する情報」を発表した。

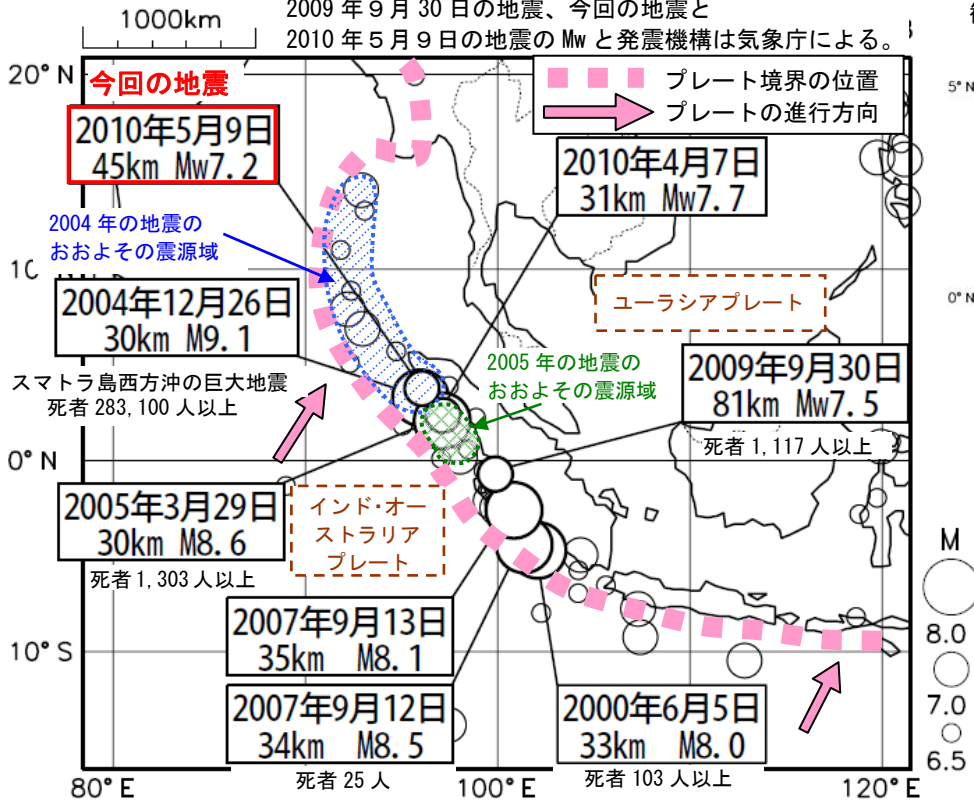
いずれもユーラシアプレートとスマトラ島の地下に沈み込むインド・オーストラリアプレートの境界で発生した地震で、周辺ではM7.0を超えるプレート境界型の地震が度々発生している。

震央分布図（1980年1月以降、深さ0~100km、M≥6.5）

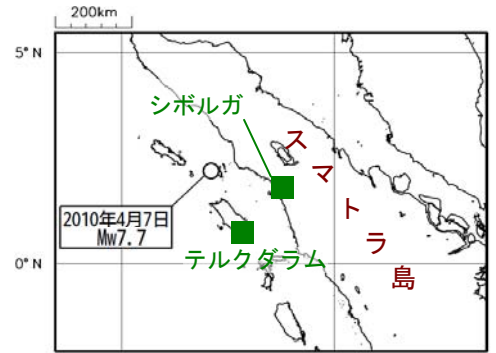
※ 震源要素、被害は米国地質調査所(USGS)による。

2009年9月30日の地震、今回の地震と

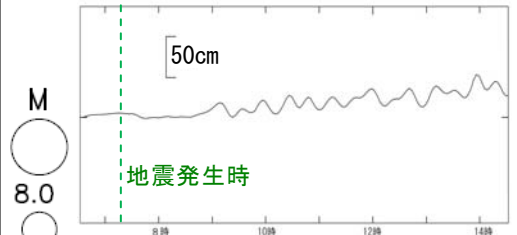
2010年5月9日の地震のMwと発震機構は気象庁による。



インドネシアで観測された津波
シボルガとテルクダラムで0.1mの津波を
観測した（太平洋津波警報センターによる）



シボルガの潮位データ

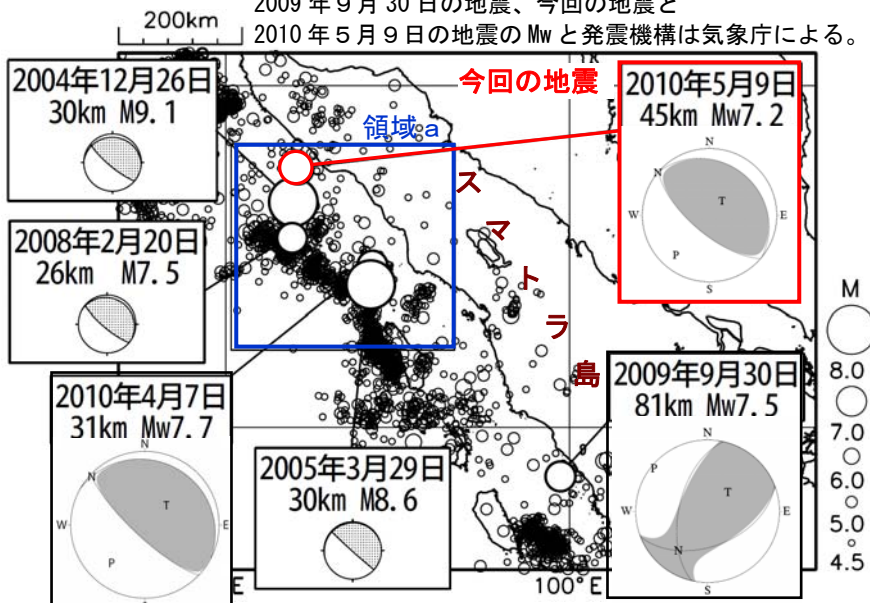


震央分布図（2004年1月以降、深さ0~100km、M≥4.5）

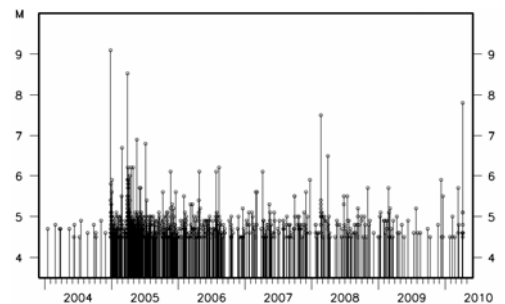
※ 震源要素と発震機構は米国地質調査所(USGS)による。

2009年9月30日の地震、今回の地震と

2010年5月9日の地震のMwと発震機構は気象庁による。



領域a内の地震活動経過図
(2004年1月~2010年4月)



注) 2009年9月30日の地震は
インド・オーストラリアプレート内部の地震